

# 平成31年度 予算のあらまし

平成31年2月



東京二十三区清掃一部事務組合

# 目 次

	頁
1 予算編成の基本方針 . . . . .	1
2 歳入歳出予算の概要 . . . . .	2
3 主な特色項目 . . . . .	4
4 施設整備事業一覧 . . . . .	12
5 財政調整基金と組合債の状況 . . . . .	13
6 ごみの流れ . . . . .	14
7 特別区分担金納付額等 . . . . .	15

## 1 予算編成の基本方針

平成31年度予算は、「安全で安定的な中間処理」を持続可能なものとするために、これまで培った技術力による改善案を具現化させるなどの積極的な対応により新たな課題に果敢に取り組んでいくとの観点から、以下の8つの方針に基づき編成しました。

### 《編成方針》

- 1 「一般廃棄物処理基本計画」の着実な達成を図る。
- 2 平成31年度予算要求における経費の見積りのうち、「経常的経費」については、原則として、前年度予算額を上限とする。  
また、事業の必要性を見極め、実施時期を含めて再検討し、真に必要な経費を計上する。さらに、物価上昇の影響をしっかりと分析し、安易な歳出増とならないよう、創意工夫の発揮、徹底的な無駄の排除、そして厳しい優先順位付けを踏まえた予算とする。事務事業の実施方法については、事業運営の合理化及び維持管理費の縮減に十分配慮する。
- 3 「臨時的経費」のうち、新規事業及び政策的レベルアップ事業については、事業の緊急性や必要性などを十分検証するとともに、既存事業の見直し（廃止）・再構築を前提に財源を捻出する。
- 4 過去の決算状況を分析し、実績を踏まえた見積りを行う。  
また、全ての契約行為の予算の見積りに当たっては、直近の契約実績を反映させ、より実績に近い金額の予算とする。
- 5 職員定数については、「平成31年度組織及び職員定数について」に基づき適正化を図り、より効率的かつ効果的な執行体制を構築する。
- 6 施設の建設、改築及び改修については、仕様内容の十分な精査と社会状況の変化による影響分析を実施した上で、建設コストの縮減に努める。
- 7 複数の部課に関係する事業については、情報共有と調整の徹底により、重複せず、効率的かつ過不足の無いよう留意する。
- 8 歳入の見積りについては、国庫支出金に係る国の予算編成の動向を注視し、確実に財源を確保する。また、自主財源については、最大限の増収を見込むとともに、手数料等においては、なお一層収納率向上に努める。

## 2 歳入歳出予算の概要

平成 31 年度の一般会計予算の総額は、785 億 6,600 万円となり、対前年度 66 億 2,600 万円、9.2%の増となりました。内訳は、3 ページの表のとおりです。

歳出では、清掃工場の建設等に要する経費である「施設整備費」が、対前年度 43 億 9,400 万円、26.3%の増となりました。これは、光が丘清掃工場建替工事の進捗により大きく増となったことによるものです。

清掃工場等の維持管理及び運営に要する経費である「清掃費」は、埋立処分量削減に向けて、主灰のセメント原料化の規模拡大に加え、新たに飛灰についても資源化の実証確認を開始、また、更なる予防保全として基幹設備であるボイラ設備水管部分の整備工事、発電機精密点検、予備部品の事前調達等の対策に取り組むことにより、対前年度 20 億 6,400 万円、4.4%の増となりました。

組合債の償還等に要する経費である「公債費」は、清掃工場の建替えに伴う新たな元金償還が始まることなどにより、対前年度 1 億 9,900 万円、5.4%の増となりました。

次に歳入では、「特別区分担金」が 330 億円、対前年度 3 億 5,000 万円、1.1%の増となりました。特別区分担金の区別納付額等については、15 ページに記載しています。

施設整備費に係る特定財源については、建替えに係る「循環型社会形成推進交付金」が対前年度 34 億 4,800 万円の増、延命化に係る「二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金」が 1,400 万円の増、「組合債」が対前年度 31 億 300 万円の増となりました。

また、財源調整のため、「繰入金」として財政調整基金から 65 億 900 万円の繰り入れとなりました。財政調整基金については、平成 31 年度末で 368 億 1,100 万円の残高見込みとなっています。

# 〈平成31年度一般会計予算〉

○ 歳入歳出予算		78,566,000	千円
○ 債務負担行為	3件	145,479	千円
○ 組合債	3件	7,401,000	千円

## 歳入歳出予算

### 歳入

(単位：千円、%)

区 分	31年度予算		30年度予算		比較増(△)減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 分担金及び負担金	33,000,000	42.0	32,650,000	45.4	350,000	1.1
2 使用料及び手数料	15,694,859	20.0	15,374,155	21.4	320,704	2.1
うち廃棄物処理手数料	15,687,875	20.0	15,365,377	21.4	322,498	2.1
3 国庫支出金	5,413,377	6.9	1,950,517	2.7	3,462,860	177.5
うち循環型社会形成推進交付金	5,052,322	6.4	1,603,968	2.2	3,448,354	215.0
うち二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金	347,740	0.4	334,037	0.5	13,703	4.1
4 財産収入	21,106	0.0	11,078	0.0	10,028	90.5
5 寄附金	1,300	0.0	1,300	0.0	0	0.0
6 繰入金	6,509,000	8.3	7,300,000	10.1	△791,000	△10.8
7 繰越金	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
8 諸収入	10,225,358	13.0	10,054,950	14.0	170,408	1.7
9 組合債	7,401,000	9.4	4,298,000	6.0	3,103,000	72.2
歳入合計	78,566,000	100.0	71,940,000	100.0	6,626,000	9.2

### 歳出

(単位：千円、%)

区 分	31年度予算		30年度予算		比較増(△)減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 議会費	10,161	0.0	10,058	0.0	103	1.0
2 総務費	4,572,954	5.8	4,608,623	6.4	△35,669	△0.8
3 清掃費	69,828,256	88.9	63,369,773	88.1	6,458,483	10.2
清掃費	48,746,978	62.1	46,683,064	64.9	2,063,914	4.4
施設整備費	21,081,278	26.8	16,686,709	23.2	4,394,569	26.3
4 公債費	3,846,789	4.9	3,648,316	5.1	198,473	5.4
うち組合債元利償還金	3,846,765	4.9	3,648,292	5.1	198,473	5.4
5 諸支出金	7,840	0.0	3,230	0.0	4,610	142.7
6 予備費	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
歳出合計	78,566,000	100.0	71,940,000	100.0	6,626,000	9.2

### 3 主な特色項目

#### 1 焼却灰の資源化

【主灰のセメント原料化】

予算額 1,868,441千円

＜目的・ねらい＞

最終処分量の削減を図り、循環型社会づくりを進めるため、ごみ焼却主灰をセメント原料として活用する。平成31年度からは、鉄道用コンテナより大型の船舶用コンテナによる運搬が本格化され、自然災害等による運搬経路への支障に備えた複線化を実現し、より安定的な運搬、コスト削減、計画量の増を図っていく。

＜事業内容＞

平成31年度は、上記のとおり船舶による運搬量の増が見込めることから、最終処分量のさらなる削減を推進するため、前年度の計画量30,000tに10,000t加え、40,000tの資源化を計画している。

◆実施予定量：40,000t

（ 鉄道：34,000t  
船舶：5,000t  
車両：1,000t ）

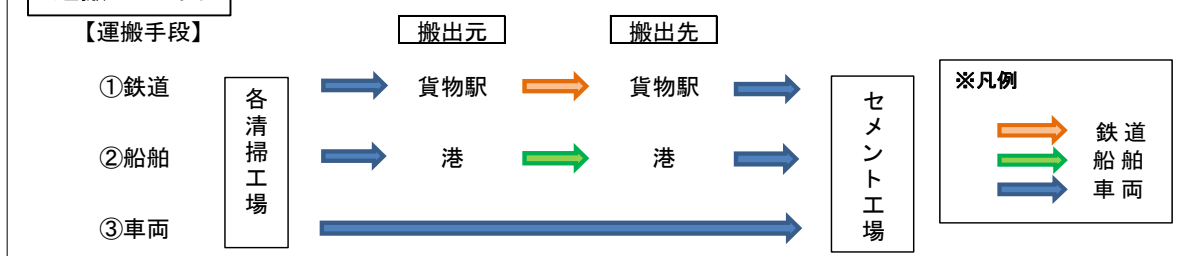


【焼却灰搬出の様子】



【船舶用コンテナ】

運搬ルート図



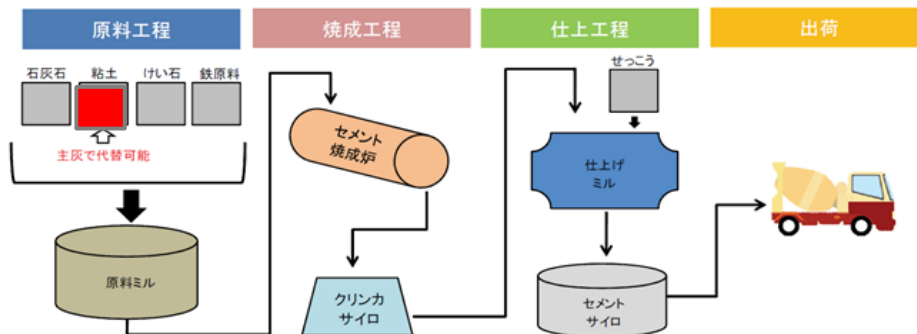
【補足説明】

① 焼却灰とは

清掃工場の焼却処理によって焼却炉から排出される灰のことで、燃えがら(=主灰)とろ過式集じん器で捕集されるばいじん(=飛灰)で構成されている。

② セメント原料としての活用とは

一般的な土木建築に利用されるセメント材として最も汎用性が高く、広く利用されているのが『普通ポルトランドセメント』である。その原料としては主に石灰石、粘土、けい石、鉄原料、石こう等が使用されているが、そのうちの粘土の代替原料として主灰を使用する。



【セメントの製造工程例】

循環型社会づくりの  
一翼を担う清掃一組

# 1 焼却灰の資源化

新

## 【飛灰等の資源化】

予算額 433,234千円

### <目的・ねらい>

最終処分量の削減を図り、循環型社会づくりを進めるため、ごみ焼却飛灰等を徐冷スラグとして活用する。

### <事業内容>

最終処分場の埋立処分量削減を推進するための新たな取組みとして、飛灰等の徐冷スラグ化の実証確認を行う。

- ◆実証確認予定量 : 7,000t
- ◆運搬手段 : 車両、鉄道、船舶

### 【補足説明】

- ① 徐冷スラグとは  
焼却灰の飛灰(ばいじん)と主灰(燃えがら)を混合し、高温で熔融してゆっくりと冷却(徐冷)すると、大きな石状のスラグになる。同時に焼却灰に微量に含まれる希少金属(金、銀、プラチナなど)が濃縮し、付加価値の高い金属原料も生成される。
- ② 徐冷スラグの使用用途  
使用用途に応じた大きさに破碎できることから、道路用骨材や河川の護岸材、盛土など幅広く使用される。



【徐冷スラグ出湯の様子】



【徐冷スラグ】



【河川の護岸材として使用】



【路盤材として使用】



【防災公園の盛土として使用】

循環型社会づくりの  
一翼を担う清掃一組

## 2 清掃事業国際協力の推進

### 【清掃事業国際協力】

予算額 17,005 千円

#### ① 包括的協力プログラム

##### <目的・ねらい>

日本の民間企業によるインドネシア等への廃棄物発電施設の導入(建設及び運営)のため、環境省、経済産業省、自治体及び民間企業等による包括的な体制で実施されるプログラムに参加し、途上国を支援する。

##### <事業内容>

- ・現地地方自治体向け訪日研修への協力
- ・日本国及び現地政府とのワークショップ出席 など

##### 【事業経費等】

対象地域:インドネシア等  
経費:1,154千円  
包括的協力プログラム事業収入:1,154千円

#### ② 技術者派遣事業

##### <目的・ねらい>

人的交流や技術協力を通して海外諸都市の環境問題や廃棄物問題の解決に貢献するとともに、友好・信頼関係を構築する。また、日本企業の案件獲得に間接的に貢献していく。

##### <事業内容>

- ・日本国及び現地政府とのワークショップ出席
- ・現地国際会議への出席 など

##### 【事業経費等】

対象地域:相手国の要請等により決定  
経費:1,193千円  
技術者派遣協力金収入:1,193千円



【品川清掃工場で、インドネシア環境林業省に対し、廃棄物処理に関する講義(平成30年6月)】



【東京都環境公社との連携に基づく、インドネシア政府の埋立処分場視察(平成30年10月)】



【外務省「講師派遣プログラム」に基づく、ロシア現地政府との意見交換会(平成30年11月)】



【崩落事故なども発生しているひっ迫した最終処分場(インドネシア)】

循環型社会づくりの  
一翼を担う清掃一組



### 3 適正な維持管理の継続

#### 【発電機、ボイラ設備の整備】

予算額 1,722,464千円

#### <目的・ねらい>

清掃工場を安全で安定的に稼働していくため、基幹設備である発電機やボイラについて整備を行う。発電機やボイラの故障は工場の運用停止につながるため、そのような状況を防ぐために適切な予防保全を進めていく。

#### ①発電機の整備

##### <事業内容>

発電機を安定的に稼働していくため、予防保全対策として絶縁性能が劣化している発電機の更新工事や発電機不具合の早期発見に向けたオンライン絶縁診断装置の設置等を行う。

※オンライン絶縁診断装置とは、発電機から発せられる部分放電の大きさや発生頻度を、運転しながら検知し発電機の異常を診断する装置。

##### ◆発電機更新工事対象工場

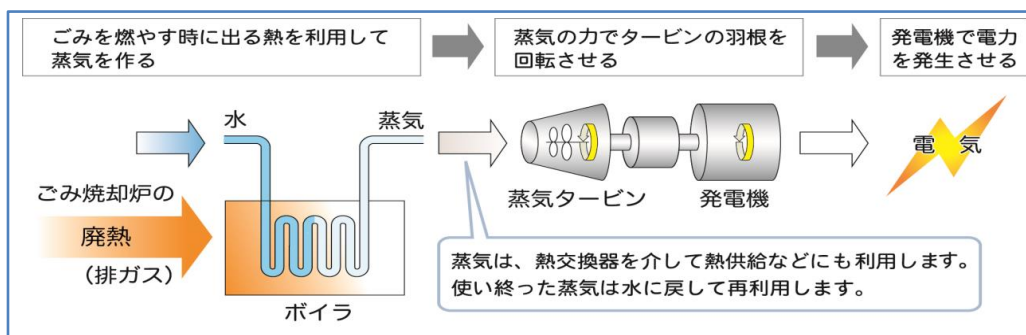
千歳(平成30年度～31年度)

経費:248,050千円

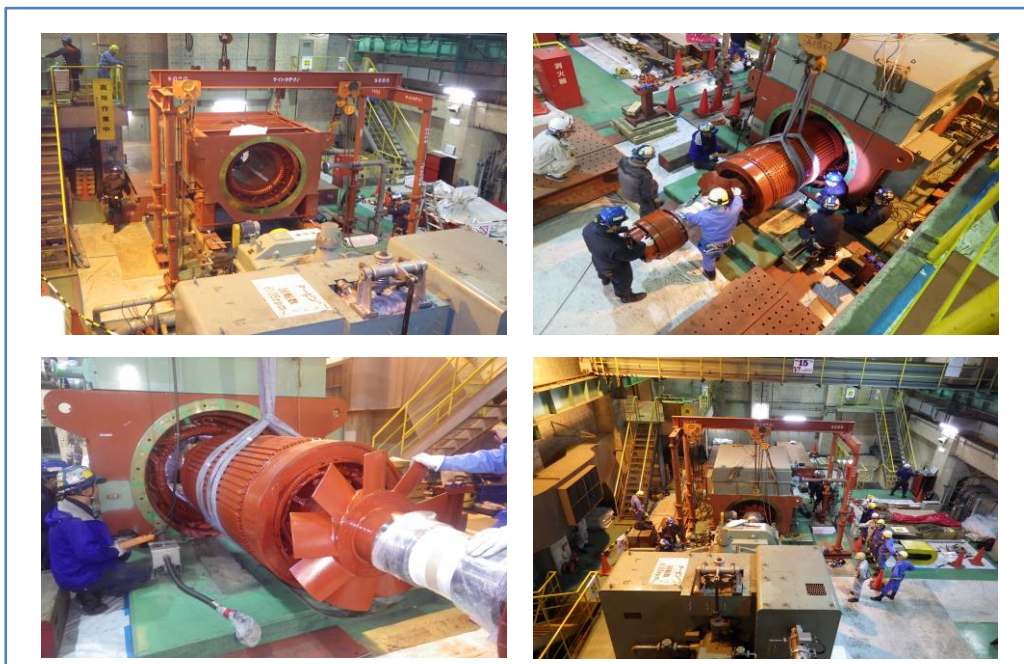
##### ◆オンライン絶縁診断装置の設置等対象工場

墨田・多摩川

#### <発電機・ボイラ設備の役割>



#### <発電機整備工事の様子>



安全で安定的な  
運営を行う清掃一組

### 3 適正な維持管理の継続

#### ②ボイラ設備の整備

##### <事業内容>

ボイラ設備の減肉等経年劣化が進んでいる工場を対象にボイラ水管抜管補修等工事を実施する。加えて、更なる予防保全の取組としてボイラ水管の広範囲な取替えなど大規模な補修工事を計画的に実施する。

※ボイラ設備の減肉とは、焼却炉内部で発生した排ガスの影響により、ボイラ水管の外側から配管壁の厚みが薄くなる現象のこと。

##### ◆ボイラ補修対象工場

墨田・新江東・港・豊島・足立・板橋・多摩川・品川・葛飾

##### ◆ボイラ大規模補修対象工場

渋谷(平成29年度～31年度)

経費:1,474,414千円

#### ボイラ水管補修工事の様子



新

#### 【予備部品の事前調達について】

予算額 31,115千円

##### <目的・ねらい>

焼却炉の停止の要因となるプラント設備機器の不具合が発生した際に、該当機器の早期復旧を図り、停止期間の長期化を回避する。

##### <事業内容>

焼却炉停止の要因となった機器及び部品のうち、製作に時間を要し、かつ調達が困難な部品を計画的に一括購入し、適切に管理していく。各工場で交換工事が必要な際に迅速に部品を提供することで、焼却炉停止期間の長期化を回避する。

##### 〔購入計画〕

ボイラ水管(平成31年度)

※その他の機器についても、次年度以降計画的に購入する。

安全で安定的な  
運営を行う清掃一組

## 4 計画的な施設整備の推進（建替え・延命化対策）

### 【清掃工場の建替え】

予算額 15,713,061 千円

#### <目的・ねらい>

一般廃棄物処理基本計画に基づき、計画的に清掃工場の施設整備を行うことにより、将来にわたって安全で安定的なごみ処理が可能となる。

#### <事業内容>

①光が丘清掃工場(4年目) 10,568,028千円（施設整備期間経費見込 34,728,012千円）

前年度から引き続き建設工事を実施する。また、工事監理及び環境影響事後調査等を実施する。

【施設整備期間】平成28年度～32年度(5年間)

【規模(炉・基数)】150t/日・炉×2基



②目黒清掃工場(3年目) 5,145,033千円（施設整備期間経費見込 52,873,365千円）

前年度から引き続き解体工事、建設工事を実施する。また、工事監理及び環境影響事後調査等を実施する。

【施設整備期間】平成29年度～34年度(6年間)

【規模(炉・基数)】300t/日・炉×2基



### 【清掃工場の延命化】

予算額 1,738,887 千円

#### <目的・ねらい>

一般廃棄物処理基本計画に基づき、これまで定期点検補修工事期間に実施することが難しかった設備・機器及び建築物について、更新改修工事を行い、清掃工場を延命化する。

#### <事業内容>

①有明清掃工場(3年目) 1,738,887千円（施設整備期間経費見込 4,262,111千円）

平成47年頃(計画耐用年数:40年)まで安定的に稼働させるため、ろ過式集じん器等のプラント設備更新、空調設備更新及びごみクレーン等の延命化工事を実施する。

【施設整備期間】平成29年度～31年度(3年間)

【規模(炉・基数)】200t/日・炉×2基

安全で安定的な  
運営を行う清掃一組

## 5 効果的な電力売却

### 【電力エネルギー売払収入】

予算額 9,583,891千円

#### <目的・ねらい>

ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電や熱供給に有効利用し、それらを清掃工場の稼働に活用した上で、余った電気を電気事業者へ売却することで、収入を確保する。

#### <事業内容>

工場建替え時に発電効率を高め、収入確保に努めるとともに、東京エコサービス(株)と連携した電力売却により、収益の増加を図る。

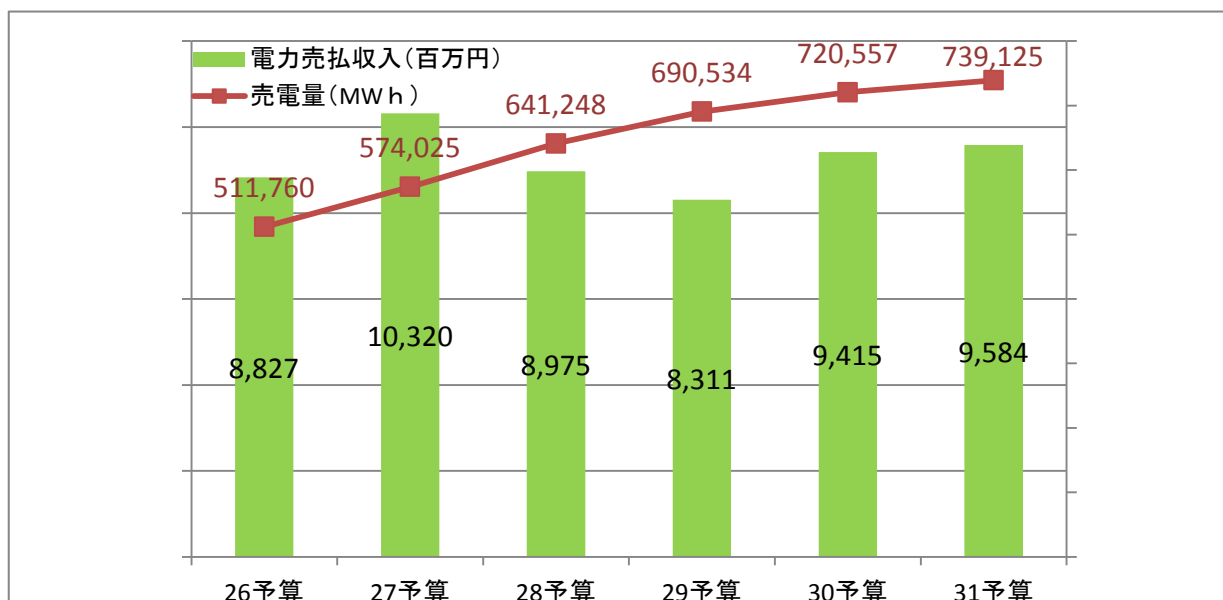
#### 【収入内訳】

新江東外18清掃工場の余剰電力の売払収入 95億8,400万円(対前年度1億6,900万円の増)

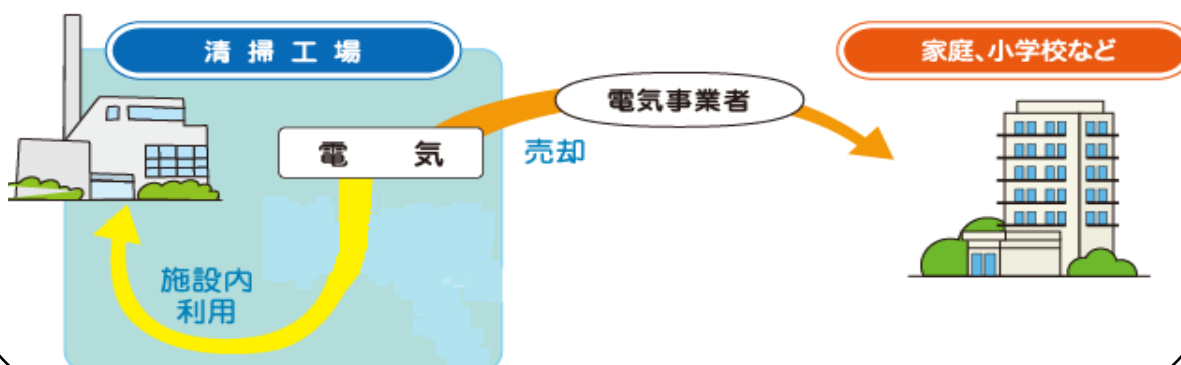
主な増減理由

- ・実績に基づく売電単価の見直しによる増 4億4,000万円
- ・杉並清掃工場の安定稼働による増 3億6,000万円
- ・新江東、北、港清掃工場のFIT終了による減 △5億4,000万円
- ・自己託送制度の活用による減 △1億3,600万円

#### 【売払収入額と売電量の推移(予算ベース)】



#### 【エネルギーの有効利用】



効率的でスリムな  
経営を行う清掃一組

## 5 効果的な電力売却

新

### 【自己託送制度の活用】～電力の地産地消～

#### <目的・ねらい>

自己託送制度の活用により、発電した電力を発電設備を持たない清掃一組の施設で使用することによる「電力の地産地消」が可能となるほか、二酸化炭素排出量および電気料金の削減効果が期待できる。

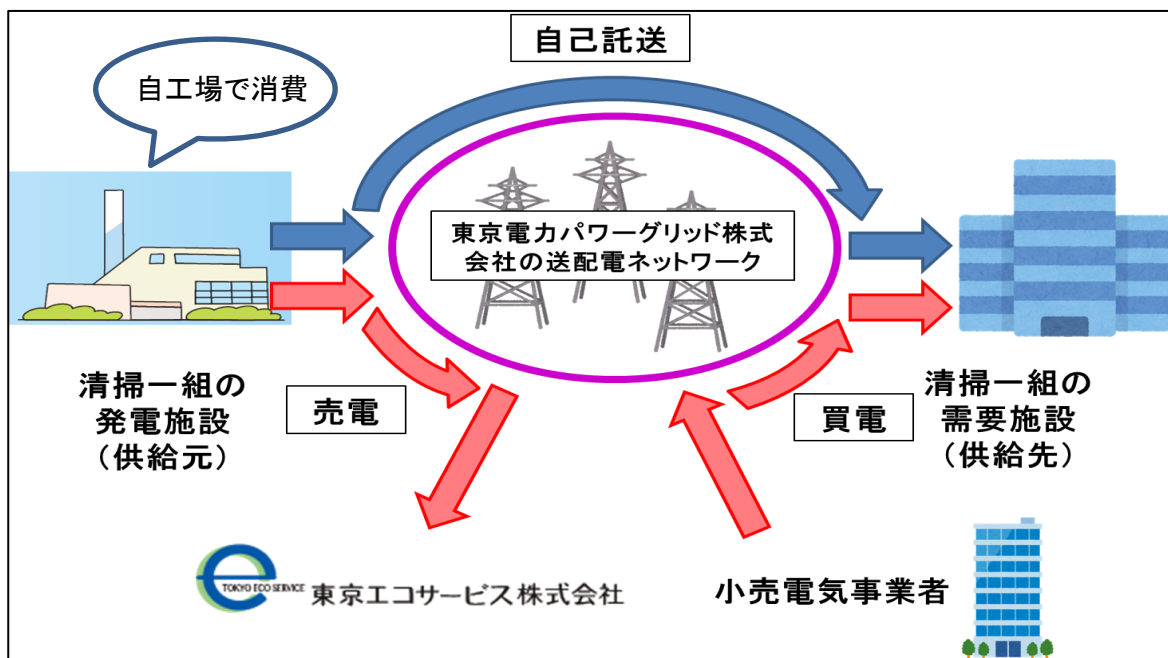
#### <事業内容>

一般送配電事業者が保有する送配電ネットワークを使用して、工場で発電した電気を清掃一組の施設へ送電する。

#### ～自己託送制度の活用による影響～

歳出への影響	△237,477千円(買電の削減)
	19,640千円(託送料金)
歳入への影響	136,610千円(売電の減収)
財政効果	△81,227千円

### 【自己託送制度のイメージ】



近年、電気料金の上昇およびFIT制度による買取期間終了に伴う売電単価の下落等により、自己託送による経済効果は増加傾向にある。

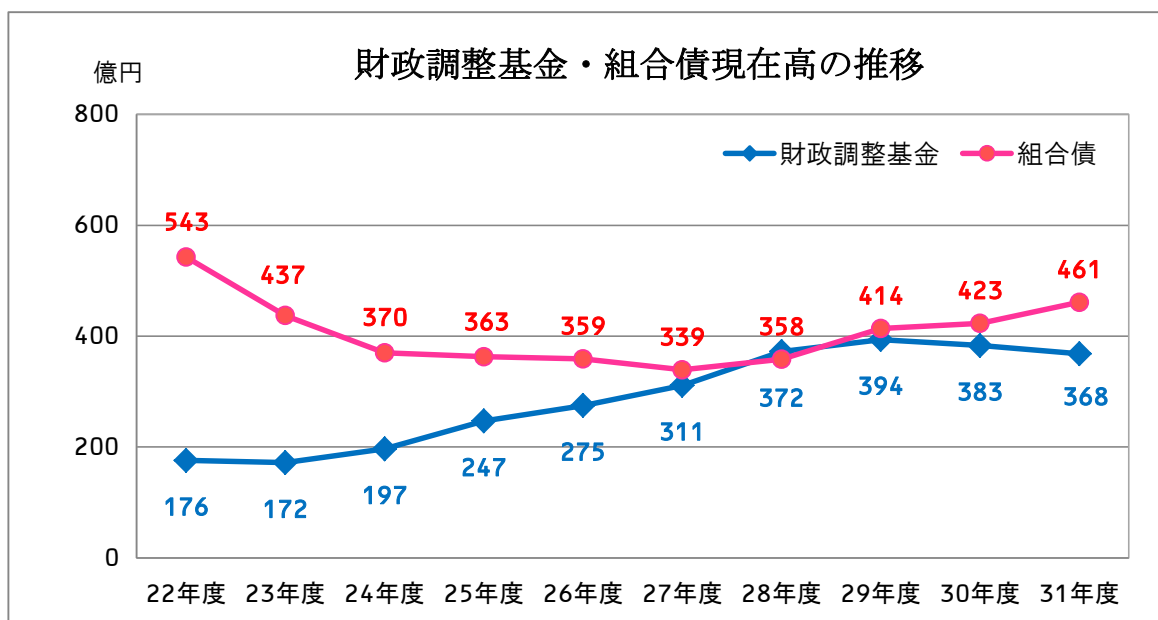
効率的でスリムな  
経営を行う清掃一組

## 4 施設整備事業一覧

(単位：千円)

区 分	整 備 内 容	事 業 費
清掃工場の建設	一般廃棄物処理基本計画に基づく清掃工場の建替工事等	15,813,088
渋谷清掃工場	未買収用地の取得等	10,579
光が丘清掃工場	建替工事等	10,568,028
目黒清掃工場	建替工事等	5,145,033
北清掃工場	環境影響評価書案作成委託等	89,448
清掃工場の延命化	一般廃棄物処理基本計画に基づく清掃工場の延命化工事等	1,738,887
有明清掃工場	焼却設備外更新工事等	1,738,887
清掃工場の施設整備	機能の維持、向上を図るための既設清掃工場の改修工事等	3,180,780
公害監視設備整備	墨田、豊島清掃工場等	185,506
建築設備等整備	新江東、中央清掃工場等	237,978
その他設備整備	板橋、足立清掃工場等	2,757,296
不燃・粗大ごみ処理施設の建設	一般廃棄物処理基本計画に基づく不燃・粗大ごみ処理施設の整備	49,609
中防不燃・粗大ごみ処理施設	環境影響評価書案作成委託	49,609
不燃ごみ処理施設の整備	機能の維持、向上を図るための不燃ごみ処理施設の改修工事等	294,365
中防不燃ごみ処理施設	その他ごみ金属除去整備工事	294,365

## 5 財政調整基金と組合債の状況



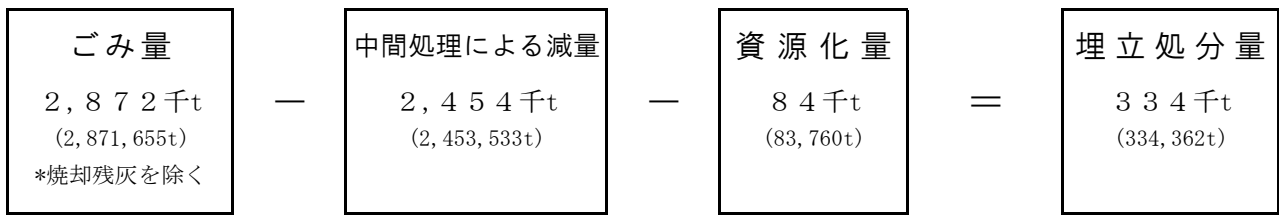
(単位：百万円)

財政調整基金	年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	繰 入 額	11,200	11,450	8,870	6,230	10,390
	積 立 額	10,771	11,032	11,368	11,256	13,189
	年度末現在高	17,586	17,168	19,666	24,692	27,491
	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	繰 入 額	3,000	1,866	4,898	7,300	6,509
	積 立 額	6,634	7,972	7,057	6,230	5,000
	年度末現在高	31,125	37,231	39,390	38,320	36,811
組 合 債	年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	起 債 額	1,390	602	3,682	7,214	6,926
	償 還 元 金	12,603	11,132	10,426	7,898	7,305
	償 還 利 子	846	720	600	502	437
	年度末現在高	54,252	43,722	36,978	36,294	35,915
	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	起 債 額	3,978	5,098	8,357	4,298	7,401
	償 還 元 金	5,950	3,226	2,798	3,354	3,597
	償 還 利 子	377	305	269	267	250
	年度末現在高	33,943	35,815	41,374	42,318	46,122

注1) 29年度までは決算額、30年度は補正予算額、31年度は見込額

注2) 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数整理をしていないため、合計額など一致しない場合があります。

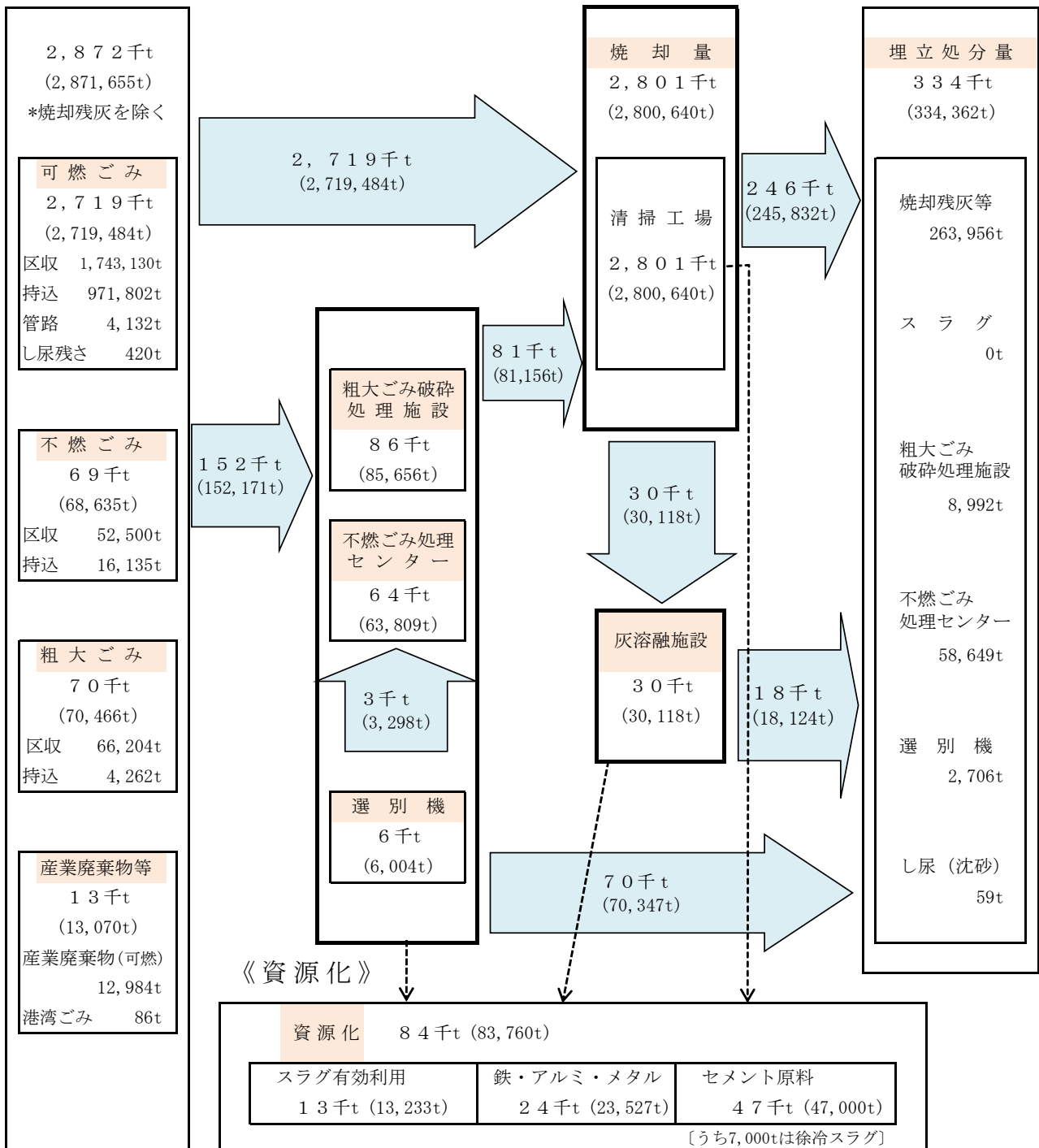
## 6 ごみの流れ（予算編成時の集計年量による）



《搬入》

《中間処理》

《最終処分》



注1) 上記のごみ量は、予算編成時の集計量であり、23区の告示ごみ量とは一致しない。  
 注2) 小数点以下の端数処理、千t単位の端数処理により合計が合わない場合がある。



## 7 特別区分担金納付額等

### 当初額算定

【23区ごみ量実績】(A)	2,763,214.25 t	【区収集ごみ量相当分担金】	
29年度 区収集ごみ量23区計	1,782,644.23 t	(G) = (D) × (B)	31,194,115千円
区収集ごみ量割合(B)	64.513%	【持込ごみ量相当分担金基礎額】	
29年度 持込ごみ量23区計	980,570.02 t	(H) = (D) × (C)	17,159,108千円
持込ごみ量割合(C)	35.487%	【持込ごみ量相当分担金】	
【分担金算出基礎額】(D)	48,353,223千円	(I) = (H) - (F)	1,805,885千円
31年度 分担金23区計(E)【予算額】	33,000,000千円		
31年度 手数料収入計(F)【予算額】	15,353,223千円		
【区別持込ごみ量】	980,486.43 t		

(単位：千円)

区分 区名	本来の分担金									清掃負担の公平 各区の 負担の調整額 j	負担の公平調整後 平成31年度 区別分担金 実納付額 k=i+j
	区収集ごみ量相当分			持込ごみ量相当分			分担金納付額				
	区収集ごみ量 (トン) a	割合 b	区収集相当分 当初額 c = (G×b)	持込ごみ量 (トン) d	割合 e	持込相当分 当初額 f = (I×e)	平成31年度 区別分担金 当初額計 g = (c+f)	平成29年度 区別分担金 清算額 h	平成31年度 区別分担金 納付額 i = (g+h)		
千代田	15,781.74	0.885%	276,068	70,057.12	7.145%	129,030	405,098	19,237	424,335	37,901	462,236
中央	35,915.28	2.015%	628,561	75,447.53	7.695%	138,963	767,524	51,901	819,425	△ 19,457	799,968
港	53,257.69	2.988%	932,080	104,962.86	10.705%	193,320	1,125,400	54,110	1,179,510	△ 42,302	1,137,208
新宿	71,455.48	4.008%	1,250,260	82,724.51	8.437%	152,363	1,402,623	28,214	1,430,837	67,133	1,497,970
文京	42,595.64	2.390%	745,539	23,211.05	2.367%	42,745	788,284	2,665	790,949	28,379	819,328
台東	42,963.27	2.410%	751,778	36,250.12	3.697%	66,764	818,542	298	818,840	33,930	852,770
墨田	54,556.62	3.060%	954,540	23,223.04	2.369%	42,781	997,321	17,093	1,014,414	△ 22,840	991,574
江東	91,177.96	5.115%	1,595,579	45,725.30	4.664%	84,226	1,679,805	△ 2,065	1,677,740	△ 222,230	1,455,510
品川	71,976.27	4.038%	1,259,618	36,871.39	3.761%	67,919	1,327,537	19,945	1,347,482	△ 18,965	1,328,517
目黒	52,800.86	2.962%	923,970	20,770.38	2.118%	38,249	962,219	△ 309	961,910	19,827	981,737
大田	130,666.29	7.330%	2,286,529	66,980.15	6.831%	123,360	2,409,889	△ 11,656	2,398,233	△ 3,989	2,394,244
世田谷	172,762.30	9.691%	3,023,022	44,306.07	4.519%	81,608	3,104,630	△ 26,637	3,077,993	11,645	3,089,638
渋谷	51,024.41	2.862%	892,776	69,765.82	7.115%	128,489	1,021,265	16,665	1,037,930	32,058	1,069,988
中野	57,866.77	3.246%	1,012,561	15,939.29	1.626%	29,364	1,041,925	△ 21,084	1,020,841	31,637	1,052,478
杉並	96,703.28	5.425%	1,692,281	25,297.91	2.580%	46,592	1,738,873	△ 9,834	1,729,039	6,693	1,735,732
豊島	56,631.20	3.177%	991,037	43,840.43	4.471%	80,741	1,071,778	15,169	1,086,947	3,371	1,090,318
北	65,484.38	3.673%	1,145,760	18,543.34	1.891%	34,149	1,179,909	△ 7,616	1,172,293	△ 7,426	1,164,867
荒川	42,933.16	2.408%	751,154	11,165.13	1.139%	20,569	771,723	△ 13,541	758,182	23,223	781,405
板橋	104,856.51	5.882%	1,834,838	30,639.22	3.125%	56,434	1,891,272	△ 51,103	1,840,169	12,528	1,852,697
練馬	128,128.96	7.188%	2,242,233	29,405.83	2.999%	54,158	2,296,391	△ 24,445	2,271,946	5,968	2,277,914
足立	130,520.10	7.322%	2,284,033	42,612.57	4.346%	78,484	2,362,517	△ 21,593	2,340,924	3,653	2,344,577
葛飾	84,522.38	4.741%	1,478,913	23,806.52	2.428%	43,847	1,522,760	△ 10,508	1,512,252	63	1,512,315
江戸川	128,063.68	7.184%	2,240,985	38,940.85	3.972%	71,730	2,312,715	△ 24,906	2,287,809	19,200	2,307,009
合計	1,782,644.23	100.000%	31,194,115	980,486.43	100.000%	1,805,885	33,000,000	0	33,000,000	0	33,000,000